

平成24年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年9月6日

上場会社名 株式会社 ながの東急百貨店 上場取引所 大
 コード番号 9829 URL http://www.nagano-tokyu.co.jp
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 中島 雅之
 問合せ先責任者 (役職名) 経営統括部担当部長 (氏名) 島田 芳雄 (TEL) 026-226-8181
 四半期報告書提出予定日 平成23年9月9日 配当支払開始日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年1月期第2四半期の連結業績(平成23年2月1日～平成23年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年1月期第2四半期	11,368	△0.1	164	7.9	139	5.3	55	26.5
23年1月期第2四半期	11,376	△0.6	152	—	132	—	75	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年1月期第2四半期	5.76	—
23年1月期第2四半期	7.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年1月期第2四半期	18,730	7,404	39.4	768.78
23年1月期	18,495	7,378	39.7	766.05

(参考) 自己資本 24年1月期第2四半期 7,370百万円 23年1月期 7,345百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年1月期	—	0.00	—	3.00	3.00
24年1月期	—	0.00	—	—	—
24年1月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成24年1月期の連結業績予想(平成23年2月1日～平成24年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,839	△0.0	381	13.5	273	19.2	115	1.8	12.02

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 3「その他」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注） 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

（注） 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

- ② ①以外の変更 : 無

（注） 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年1月期2Q	9,645,216株	23年1月期	9,645,216株
24年1月期2Q	57,332株	23年1月期	55,967株
24年1月期2Q	9,588,664株	23年1月期2Q	9,592,492株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
【第2四半期連結累計期間】	6
【第2四半期連結会計期間】	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災および福島原発事故による全国的な消費自粛ムードは和らいだものの、復興政策への懸念や電力不足、放射性物質への不安、さらに原油価格の高騰や長引く円高基調等により、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

百貨店業界におきましては、震災による経済への影響が薄らぎ、景気の持ち直しと消費マインドの回復をうけ、宝飾品等の高額商品に動きが見られたほか、猛暑の影響によるクールビズや涼感寝具等の暑さ対策商品や、節電対策商品が好調に推移したことから、百貨店売上高はほぼ前年並みの水準で推移いたしました。

このような環境のもとで当社は、真の「お客様第一」の実現に向け、全社一丸となって取り組んでまいりました。当社は本年、長野駅前開店45周年をむかえ、地元情報誌やテレビ局とのタイアップ企画による「信州グルメフェスタ」や「日本うまいもの大集合」を始め、「親鸞展」「ハワイアンフェスティバル」「GOLD EXPO」といった新規大型催事の導入やキャンペーン企画の開催、さらに各階での期間限定イベントなど、積極的な営業活動を展開し、集客力、収益力の強化に努めてまいりました。また、収支面におきましては、震災後の消費電力削減という社会的な要請を踏まえ、一部照明の消灯を継続するなか、経費全般にわたり費用対効果を見極めた経費管理を徹底し、諸経費の削減に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は11,368百万円（前年同四半期比0.1%減）、営業利益164百万円（前年同四半期比7.9%増）、経常利益139百万円（前年同四半期比5.3%増）、四半期純利益55百万円（前年同四半期比26.5%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金、受取手形及び売掛金の増加により、前連結会計年度末に比べ235百万円増加して18,730百万円となりました。

負債は、主に仕入債務の増加により、前連結会計年度末に比べ209百万円増加して11,326百万円となりました。

純資産は、主に利益剰余金の増加により前連結会計年度末に比べ25百万円増加して7,404百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末の現金及び預金同等物残高は、前連結会計年度末に比べて258百万円増加して857百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益122百万円に減価償却費242百万円、仕入債務の増加額283百万円等を調整し、611百万円の収入となりました。前年同四半期に比べ、仕入債務の増加等により64百万円増加となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に固定資産の取得による支出により52百万円の支出となり、前年同四半期に比べ48百万円の支出増となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に長短借入金の純減235百万円により301百万円の支出となりました。前年同四半期に比べ、借入金の返済による支出の減少等により152百万円の支出減となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月15日付の「平成23年1月期 決算短信」において公表いたしました、平成24年1月期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成23年9月2日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出については、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(会計処理基準に関する事項の変更)

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益は754千円、税金等調整前四半期純利益は14,150千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は29,048千円であります。

(表示方法の変更)

四半期連結損益計算書関係

前第2四半期連結累計期間において、独立科目で掲記しておりました営業外収益の「保険解約返戻金」は、営業外収益総額の100分の20以下のため、「その他」に含めて表示しております。なお、「その他」に含まれる「保険解約返戻金」は104千円であります。

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期末 (平成23年7月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	858,651	600,435
受取手形及び売掛金	1,149,622	1,020,392
商品	1,140,212	1,181,439
原材料及び貯蔵品	27,835	26,855
繰延税金資産	90,415	126,731
その他	113,355	110,619
貸倒引当金	△11,570	△7,319
流動資産合計	3,368,523	3,059,156
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,598,949	4,761,558
土地	9,530,076	9,530,076
その他(純額)	330,100	227,134
有形固定資産合計	14,459,127	14,518,768
無形固定資産		
投資その他の資産	209,477	221,013
投資有価証券	99,483	101,507
繰延税金資産	266,957	266,055
敷金及び保証金	177,324	178,094
その他	167,329	169,926
貸倒引当金	△17,300	△19,000
投資その他の資産合計	693,794	696,583
固定資産合計	15,362,398	15,436,365
資産合計	18,730,922	18,495,521
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,734,381	1,447,255
短期借入金	5,451,000	5,605,000
未払法人税等	40,562	56,217
商品券	949,498	886,311
賞与引当金	48,187	26,476
商品券回収損引当金	106,350	194,401
その他	1,573,011	1,485,510
流動負債合計	9,902,989	9,701,171
固定負債		
長期借入金	84,000	165,000
再評価に係る繰延税金負債	264,112	264,112
退職給付引当金	642,285	631,165
長期預り保証金	103,125	103,125
資産除去債務	29,298	—
その他	300,803	252,216
固定負債合計	1,423,624	1,415,619
負債合計	11,326,613	11,116,790

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年7月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,368,299	2,368,299
資本剰余金	2,916,697	2,916,697
利益剰余金	1,726,222	1,699,671
自己株式	△16,424	△16,159
株主資本合計	6,994,796	6,968,509
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△13,448	△12,242
土地再評価差額金	389,630	389,630
評価・換算差額等合計	376,181	377,388
少数株主持分	33,330	32,833
純資産合計	7,404,308	7,378,731
負債純資産合計	18,730,922	18,495,521

(2) 四半期連結損益計算書
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年2月1日 至平成22年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年7月31日)
売上高	11,376,810	11,368,147
売上原価	8,676,311	8,704,054
売上総利益	2,700,498	2,664,092
その他の営業収入	92,030	90,457
営業総利益	2,792,529	2,754,550
販売費及び一般管理費	2,639,693	2,589,653
営業利益	152,835	164,896
営業外収益		
受取利息	153	94
受取配当金	1,280	1,326
保険解約返戻金	4,016	—
保険譲渡益	3,757	—
債務勘定整理益	5,104	6,152
その他	3,287	2,117
営業外収益合計	17,599	9,691
営業外費用		
支払利息	23,677	22,268
その他	13,971	12,455
営業外費用合計	37,649	34,724
経常利益	132,786	139,863
特別利益		
固定資産受贈益	2,073	1,850
特別利益合計	2,073	1,850
特別損失		
固定資産除却損	6,883	5,752
会員権評価損	5,000	—
リース解約損	1,544	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	13,395
特別損失合計	13,428	19,147
税金等調整前四半期純利益	121,430	122,565
法人税、住民税及び事業税	3,251	30,518
法人税等調整額	42,615	36,231
法人税等合計	45,867	66,749
少数株主損益調整前四半期純利益	—	55,816
少数株主利益	318	497
四半期純利益	75,245	55,318

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成22年5月1日 至平成22年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年5月1日 至平成23年7月31日)
売上高	5,722,836	5,751,224
売上原価	4,378,333	4,421,729
売上総利益	1,344,502	1,329,495
その他の営業収入	48,273	47,935
営業総利益	1,392,776	1,377,431
販売費及び一般管理費	1,317,996	1,295,195
営業利益	74,780	82,236
営業外収益		
受取利息	4	1
受取配当金	1,279	1,325
債務勘定整理益	2,996	3,619
還付加算金	1,744	—
その他	716	898
営業外収益合計	6,740	5,843
営業外費用		
支払利息	11,557	11,028
その他	8,657	6,562
営業外費用合計	20,214	17,591
経常利益	61,305	70,488
特別利益		
固定資産受贈益	133	—
特別利益合計	133	—
特別損失		
リース解約損	1,544	—
特別損失合計	1,544	—
税金等調整前四半期純利益	59,894	70,488
法人税、住民税及び事業税	1,725	28,813
法人税等調整額	26,559	3,105
法人税等合計	28,284	31,919
少数株主損益調整前四半期純利益	—	38,568
少数株主損失(△)	△321	△188
四半期純利益	31,931	38,757

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年2月1日 至平成22年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	121,430	122,565
減価償却費	216,321	242,237
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,429	2,551
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,672	21,711
退職給付引当金の増減額(△は減少)	9,417	11,119
商品券回収損引当金の増減額(△は減少)	△77,944	△88,051
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	13,395
受取利息及び受取配当金	△1,433	△1,421
支払利息	23,677	22,268
有形固定資産除却損	6,915	5,752
会員権評価損	5,000	—
売上債権の増減額(△は増加)	△44,755	△129,230
たな卸資産の増減額(△は増加)	25,847	40,247
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△22,256	△356
仕入債務の増減額(△は減少)	130,714	283,497
未払消費税等の増減額(△は減少)	14,566	7,563
その他の流動負債の増減額(△は減少)	103,885	120,739
その他	20,405	2,541
小計	530,548	677,132
利息及び配当金の受取額	1,431	1,420
利息の支払額	△23,473	△21,470
役員退職慰労金の支払額	△30,161	—
法人税等の支払額	△5,104	△45,192
法人税等の還付額	74,219	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	547,460	611,890
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△25,665	△48,754
有形固定資産の売却による収入	669	—
無形固定資産の取得による支出	—	△4,394
差入保証金の差入による支出	△186	—
差入保証金の回収による収入	509	770
預り保証金の受入による収入	916	—
その他	20,103	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,651	△52,378
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△130,000	△170,000
長期借入金の返済による支出	△281,160	△65,000
自己株式の取得による支出	△528	△264
配当金の支払額	△28,841	△28,857
リース債務の返済による支出	△12,776	△37,174
財務活動によるキャッシュ・フロー	△453,305	△301,297
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	90,503	258,215
現金及び現金同等物の期首残高	675,291	599,292
現金及び現金同等物の四半期末残高	765,794	857,507

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自 平成22年5月1日 至 平成22年7月31日)及び前第2四半期連結累計期間(自 平成22年2月1日 至 平成22年7月31日)

当社グループは、商品の種類、販売市場の類似性から判断して、単一の事業であるため、該当事項はありません。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自 平成22年5月1日 至 平成22年7月31日)及び前第2四半期連結累計期間(自 平成22年2月1日 至 平成22年7月31日)

在外連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間(自 平成22年5月1日 至 平成22年7月31日)及び前第2四半期連結累計期間(自 平成22年2月1日 至 平成22年7月31日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年2月1日 至 平成23年7月31日)及び当第2四半期連結会計期間(自 平成23年5月1日 至 平成23年7月31日)

当社グループの報告セグメントは、百貨店業単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

株主資本の金額は、前連結会計年度末と比較して著しい変動はありません。